



あいことば 上宇部 2025

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

11.26 NO-46

持久走大会

本日、全学年で持久走大会を実施しました。インフルエンザも心配されましたが、なんとか実施することができました。

持久走大会は、単に速さを競うものではなく、自分の力を最後まで出し切り、苦しさ負けずに走り抜く経験を通して、心と体を鍛えることを目的としています。

走っているとき、「もうやめたい」、「少し力を抜いて楽をしようかな～」と思う瞬間があります。しかし、その気持ちを乗り越えることで、達成感と自信が生まれます。学校で行う意味のひとつは、なかまや先生、保護者、地域の方々からの応援という“支え”を受けながら挑戦できることです。その力を得て、「もう少し」「あと一歩」と頑張れるのです。ひとりでは難しいことも、みんなとならできる——そんな経験ができるのが学校です。持久走大会は、困難に立ち向かう力を養い、これからの生活や学びに生きる「強い心」を育てる機会となっています。

～ すてきな子どもたち すてきな上宇部地域のみなさん ～



子どもたち、一人ひとりの頑張りがすごかったです。走るのが得意な子もそうでない子も、自分のめざしている走りを実現しようと頑張っていました。
コースそばで応援していると、子どもたちの激しい息づかいと一所懸命な表情が、手に取るように分かりました。

「みんなをみんなで応援する」そんな光景がグラウンドのあちこちで見られました。友だちだけでなく、学級や学年を越えて、みんなをみんなで応援していました。
最後の方でゴールするなかまには、ひと際温かく、やさしさに包まれた声援が送られていました。



コース周辺で、たくさんの保護者、地域の方からの声援がありました。とくに印象的だったのは、走り終えた学年が校舎に戻る時に、みなさんの前を通った際、「がんばったね～」の気持ちがこめられた温かい拍手が自然に沸き上がったことです。
上宇部地域のあたたかさを実感した瞬間でした。



たくさんのご声援、ありがとうございました!!